

スポーツ×SDGs オリンピック・パラリンピック 教育の展開



キーワード

スポーツSDGs、オリンピック・パラリンピック教育、すごろく、教材開発

○取り組んだきっかけ

浜松市ではスポーツ庁委託事業として2018年よりオリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業をスタートさせました。「スポーツSDGsすごろく」という教材を開発し、それを活用したオリ・パラ教育の実践を行いました。

○具体的な内容

本事業では、スポーツに関連したSDGsの17の目標をクイズ形式（3択）で1マスずつ組み込んだ「スポーツSDGsすごろく」を作成しました。

スポーツSDGsの目標に関するマスに止まったら解答用紙にクイズへの回答を記入していきながら、ゴールを目指すゲームです。すごろくの途中には、スポーツに関連したポイントも配置されており、ポイント数も加算できるようになっています。

体験後は、クイズの答え合わせを行いながら、スポーツSDGsの目標についての解説を行いました。

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」に参加している小学校2校の児童を対象として、教育実践を行い、教育実践の前後にアンケート調査を行いました。

その結果、教育実践前後での得点の効果量を算出したところ、スポーツへの関心、スポーツ観戦への関心が高く、教育実践によってスポーツの関心やスポーツ観戦への

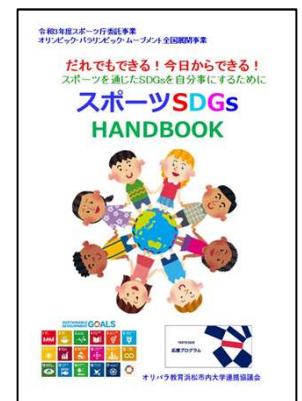
○活動の目的

オリ・パラ教育とスポーツSDGsは共にスポーツの関心を高めることをその目的の一つとしており、東京大会の終了を迎えたいま、それらを結び付けて展開していくことへの期待は大きいと考えられます。オリパラ教育実践活動によるスポーツへの関心という視点からその効果を検証しました。

の関心が高まったことがわかりました。特にA小において教育実践によりスポーツへ高い関心が向けられたことが明らかとなりました。

また、スポーツSDGsを日常生活の中で紐づけし、具体的に実践していくための新たな教育教材として「スポーツSDGsHANDBOOK」を作成しました。

（東京2020参画プログラム）
に認証されています



○期待される効果

「スポーツSDGsすごろく」の教育実践がスポーツへの興味・関心を高めることができるオリ・パラ教育の重要なツールとなることが期待できます。

#スポーツSDGs

「スポーツが持つ“人々を集めたり巻き込んだりする力”を活用し、SDGsの認知度上とスポーツの価値向上に取り組むこと」



教員名 木村 佐枝子

所属学部・学科 健康プロデュース活動
心身マネジメント学科

職位 教授/地域貢献センター長



連携先

スポーツ庁

オリパラ教育浜松市内大学連携協議会